特集

今そこにある、ファミリー・バイオレンス

Violence and Health

企画 藤沼 康樹

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2017

2026/10/12 12:00:47

WHO（世界保健機関）が2002年に発表した『World Report on Violence and Heath』以降、
さまざまな暴力の問題が「健康問題」として重視されてきている。
しかし日本では、「健康問題としての暴力」に対応している医療者教育は十分とは言えない。
本特集では、総合診療に関連した医療現場で遭遇しうる、さまざまな暴力の問題について、
多角的に学べるように編集した。

今月の Questions

Q1 通院女性患者の背後に「ファミリー・バイオレンス（FV）」を発見した時に留意することは?››› 1470
Q2 「ファミリー・バイオレンス」と言われる現象を扱う際の困難とは?››› 1474
Q3 暴力を「予防」するには、どんな方法があるか?››› 1479
Q4 パートナーからを含むDVを見逃さないために、
救急では、どのような時に「DV」を疑うべきでしょうか?››› 1483
Q5 プライマリ・ケア外来で、どのような時に、パートナーからを含むDVを疑うか?››› 1488
Q6 救急外来で「子ども虐待」を疑った場合に重要なことは?››› 1492
Q7 プライマリ・ケア外来で「子ども虐待」を見逃さないためには?››› 1498
Q8 虐待ケースに、心折れずに対応するための日常の工夫は?››› 1502
Q9 ファミリー・バイオレンス（DV、児童虐待、高齢者虐待など）に対して、
「ソーシャルワーカー」はどのような支援をしていますか?››› 1507
Q10 虐待防止に関する法制度には、どのようなものがありますか?
それは、どのようなしくみですか?››› 1511
Q11 「訪問看護」の現場における、利用者・家族から看護師への暴力が、
問題として表面化しにくい理由は何か?››› 1516
Q12 「指導」「教育」などとして、積極的に悪意を抱いてはおらず、
自覚なしにハラスメント行為を行っている場合を何と言うか?››› 1523
Q13 暴れる患者に、どのように対応すればいいかわかりません。
うしろから押さえつければいいんですよね?››› 1529
Q14 患者・家族からの「クレーム」に対応する際に、念頭に置くべきことは?››› 1534

2026/10/12 12:00:47